

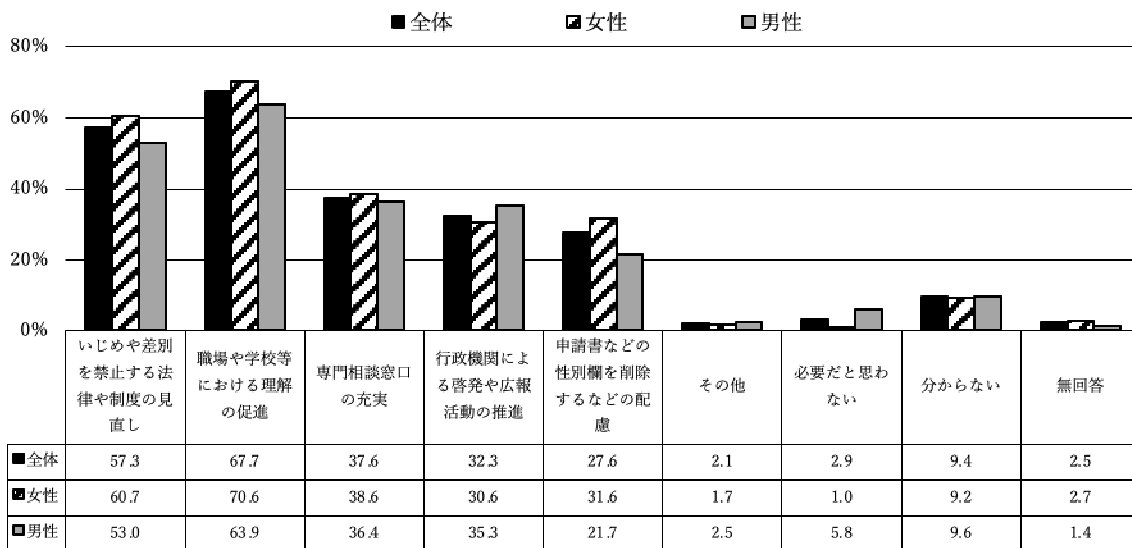
## V. 性の多様性について

### 1 性的少数者に対する理解の促進や支援のために必要なこと

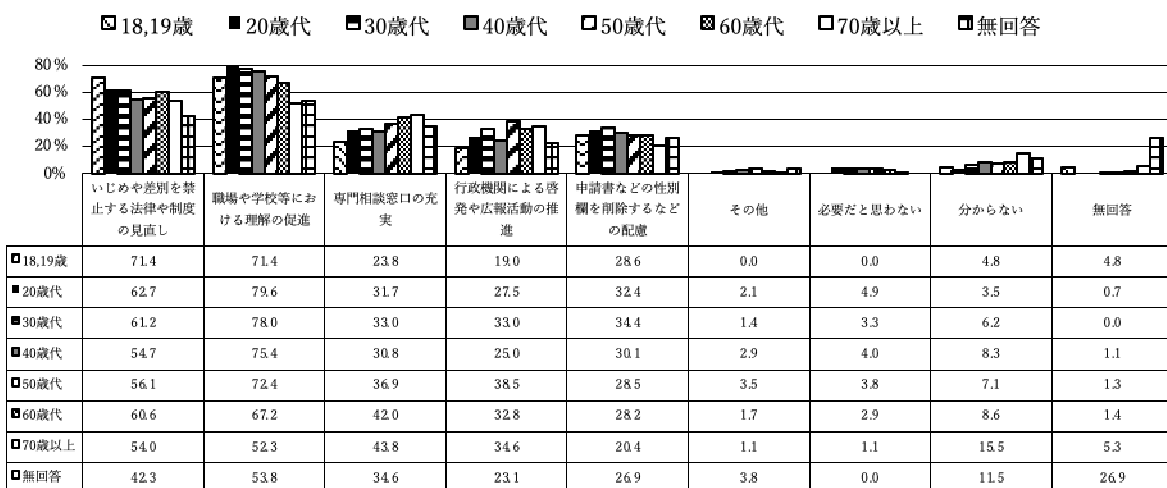
問 19 あなたは、性的少数者(セクシャルマイノリティ)に対する理解の促進や支援にはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

「職場や学校等における理解の促進」(67.7%)が最も回答割合が大きくなっており、次に「いじめや差別を禁止する法律や制度の見直し」(57.3%)、「専門相談窓口の充実」(37.6%)が続いている。全体的な傾向に大きな男女の差はみられないが、「職場や学校等における理解の促進」と回答した女性が70.6%と7割を超える結果となった。

図表 19-1 性的少数者に対する理解の促進や支援のために必要なこと 性別 (N=1,791 MA)



図表 19-2 性的少数者に対する理解の促進や支援のために必要なこと 年代別 (N=1,791 MA)

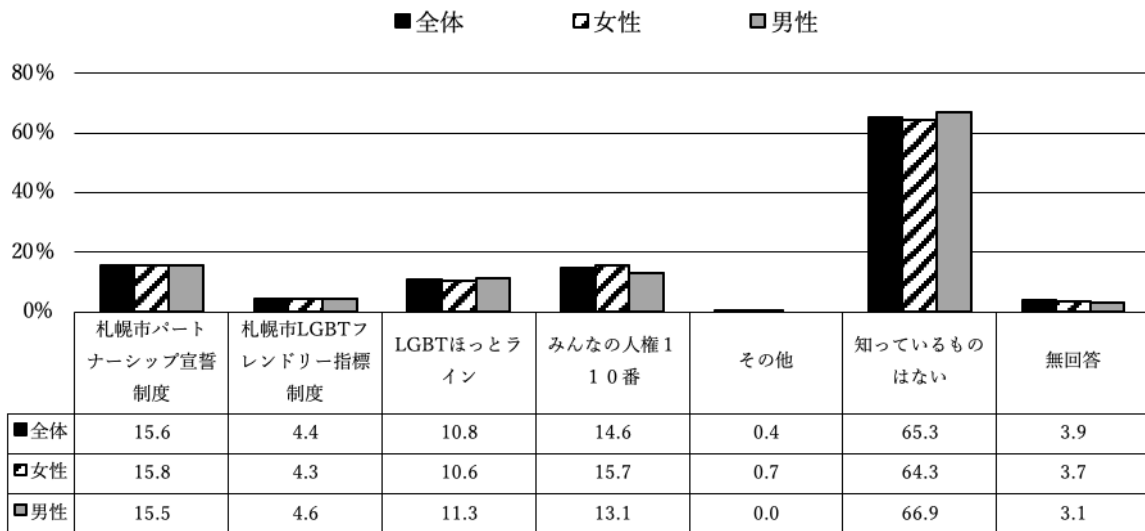


## 2 性的少数者に関する制度や相談窓口の認知度

問20 あなたは、性的少数者(セクシャルマイノリティ)に関する次の制度及び性自認・性的指向について相談できる窓口を知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

「札幌市パートナーシップ宣誓制度」(15.6%)が最も大きく、次いで「みんなの人権110番」(14.6%)、「LGBTほっとライン」(10.8%)となっているが、いずれも2割に満たない認知度であり、「知っているものはない」と回答した人が全体で65.3%に及ぶなど、性的少数者に関する制度・相談窓口の認知度を上げることが課題である。

図表 20-1 性的少数者(セクシャルマイノリティ)に関する制度や相談窓口の認知度 性別 (N=1,791 MA)



図表 20-2 性的少数者(セクシャルマイノリティ)に関する制度や相談窓口の認知度 年代別 (N=1,791 MA)

